

【全国各地の雄花の状態】

携帯サイト「ウェザーニュース」には、「サポーター」と呼ばれる有料会員が160万人がおり、サポーターからは天気などに関する様々なリポートが日々寄せられています。下記の写真は、サポーターから寄せられた全国の『雄花リポート』で、これらの情報は、きめ細かい貴重な実況値として、飛散予測などに役立てられています。

			
12月14日 岩手県花巻市	12月13日 群馬県安中市	12月13日 埼玉県東松山市	12月14日 福井県福井市
			
12月13日 静岡県御殿場市	12月14日 奈良県吉野郡	12月13日 広島県安芸高田市	12月14日 福岡県八女郡

各エリアの傾向		
エリア	花粉量(前年比)	飛散時期(前年比)
北海道 (シラカバ花粉)	少ない (2005年からの5年間で2番目に少ない)	並～やや遅め
	北海道の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で、昨年(2007年)に次いで2番目に長くなりました。また気温は2004年からの5年間で2番目に低く、降水量は最も少なくなりました。5年間の中では、雄花を成長させるコンディションとして良い方と言えますが、昨シーズン(2008年)がかなり多く飛散したため、昨シーズンと比較すると今シーズン(2009年)は少ない飛散になりそうです。また、2007年のシーズンと夏(2006年の夏)の傾向が似ており、比較すると若干今シーズンの方が日照時間は長く、やや多く飛散する可能性があります。2005年以降、2007年が最も飛散が少なかったため、今シーズンは2005年からの5年間で2番目に少なくなると予想されます。シラカバの飛散開始は、3月の気温に大きく影響されると考えられます。飛散開始は昨年並みかやや遅く、4月中旬～下旬くらいになりそうです。	
東北北部	少ない (2005年からの5年間で3番目に多い)	並～やや遅め

	<p>東北北部の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で3番目に長くなりました。また気温は2004年からの5年間で最も低く、降水量は最も多くなりました。雄花の成長にとってコンディションは悪く、昨シーズン(2008年)よりは飛散量が少なくなりそうです。昨シーズンに次いで多い飛散となった2007年と比較すると、今シーズン(2009年)の方が前年夏の日照時間が長く、2005年からの5年間では2005年、2008年について3番目に多い飛散量となりそうです。飛散開始は昨年並みかやや遅く、3月上旬～中旬くらいになりそうです。</p>	
東北南部	<p>少ない (2005年からの5年間で3番目に多い)</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>東北南部の今年の夏の最高気温、日照時間は2004年からの5年間で2番目に低い値になりました。降水量は2番目に多くなりました。雄花の成長にとってコンディションは悪く、昨シーズン(2008年)より飛散量は少なくなりそうです。昨シーズンに次いで多い飛散となった2007年と比較すると、今シーズン(2009年)の方が前年夏の日照時間が長く、2005年からの5年間では2005年、2008年について3番目に多い飛散量となりそうです。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月下旬～3月上旬くらいになりそうです。</p>	
関東	<p>並～やや多い 2005年からの5年間で2番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>関東の今年の夏の最高気温、日照時間は2004年からの5年間で2番目に低い値になりました。降水量は2番目に多く、雄花の成長にとって一見コンディションは良くはありませんが、2005年の大量飛散年から換算すると、今シーズン(2009年)は表年となります。総合的に判断すると、2007年の夏(2008年の飛散に影響)よりもコンディションは悪いながらも、昨シーズン(2008年)と同等かそれ以上に飛散する可能性があります。2005年以降、極端に多く飛散した2005年に次いで2番目の飛散量となる予想です。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を更に上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月中旬くらいになりそうです。</p>	
北陸・甲信北部 (甲信北部は、 長野県北中部)	<p>多い 2005年からの5年間で2番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>北陸・甲信北部の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で3番目に長く、最高気温は2番目に低くなりました。また、今年の夏はかなりの少雨となり、降水量は2004年からの5年間で最も少なくなりました。2005年の大量飛散年から換算すると、今シーズン(2009年)は表年となります。最も近い表年である2007年のシーズンと比較すると、雄花の成長にとって前年夏のコンディションは良いようです。総合的に判断すると、昨シーズン(2008年)より多く、2005年からの5年間の中では2番目に多く飛散する可能性があります。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を更に上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月下旬くらいになりそうです。</p>	
東海・甲信南部 (甲信南部は、 長野県南部と 山梨県全域)	<p>並～やや多い 2005年からの5年間で2番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>東海・甲信南部の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で3番目に長く、最高気温は2番目に高くなりました。ただ、降水量は2004年からの5年間で最も多くなりました。2005年の大量飛散年から換算すると、今シーズン(2009年)は表年となります。総合的に判断すると、2007年の夏(2008年の飛散に影響)よりコンディションは悪いながらも、昨シーズン(2008年)と同等かそれ以上に飛散する可能性があります。2005年以降、極端に多く飛散した2005年に次いで2番目の飛散量となる予想です。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月中旬くらいになりそうです。</p>	
近畿	<p>多い 2005年からの5年間で2番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>

	<p>近畿の今年の夏の最高気温、日照時間は2004年からの5年間で2番目に低い値になりました。降水量は2番目に多く、雄花の成長にとって一見コンディションは良くはありませんが、2005年の大量飛散年から換算すると、今シーズン(2009年)は表年となります。最も近い表年である2007年は昨シーズン(2008年)よりも飛散は多く、その2007年の前年の夏と今年の夏のコンディションは良いようです。総合的に判断すると、2005年のように極端に多くはありませんが、昨シーズンよりは多く飛散すると予想され、2005年からの5年間で2番目に多くなりそうです。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を更に上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月中旬くらいになりそうです。</p>	
山陰	<p>並～やや多い 2005年からの5年間で2番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>山陰の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で2番目に短く、最高気温は3番目に高くなりました。そして2008年の夏は、かなりの少雨となり、降水量は2004年からの5年間で最も少なくなりました。また2007年の夏(2008年の飛散に影響)と日照時間、最高気温に大差はなく、降水量は極端に少なくなっています。総合的に判断すると、昨シーズン並～やや多い飛散となり、2005年以降、極端に多く飛散した2005年について2番目の多さになりそうです。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月下旬くらいになりそうです。</p>	
山陽	<p>多い 2005年からの5年間で2番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>山陽の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で2番目に短く、最高気温は2番目に高くなりました。そして2008年の夏はかなりの少雨となり、降水量は2004年からの5年間で2番目に少なくなりました。2005年の大量飛散年から換算すると、今シーズン(2009年)は表年となります。最も近い表年である2007年のシーズンと比較すると、雄花の成長にとって夏(前年の夏)のコンディションは良いようです。総合的に判断すると、昨シーズン(2008年)より多く、2005年以降、2番目に多く飛散する可能性があります。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を更に上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月中旬くらいになりそうです。</p>	
四国	<p>多い 2005年からの5年間で3番目に多い</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>四国の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で2番目に短く、最高気温は3番目に高くなりました。そして2008年の夏はかなりの少雨となり、降水量は2004年からの5年間で最も少なくなりました。2005年の大量飛散年から換算すると、今シーズン(2009年)は表年となります。最も近い表年である2007年のシーズンと比較すると、夏(前年の夏)のコンディションは良いようです。また、2006年には裏年にも関わらず、2005年夏(2006年の飛散に影響)の日照時間が長かった分だけ、飛散量がかなり多くなった所があります。総合的に判断すると、昨シーズン(2008年)より多く、2005年以降、2005年、2006年に次いで3番目に多く飛散する可能性があります。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を更に上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月上旬くらいになりそうです。</p>	
九州北部	<p>少ない 2005年からの5年間で最も少ない</p>	<p>並～やや遅め</p>
	<p>九州北部の今年の夏の日照時間は2004年からの5年間で最も短く、最高気温は2番目に低くなりました。そして降水量は2004年からの5年間で2番目に多くなりました。雄花の成長にとってコンディションは悪く、今シーズン(2009年)は表年であることを加味しても、昨シーズン(2008年)よりは飛散量が少なくなりそうです。また、2005年以降、最も少ない飛散だった2007年のシーズンと比較しても夏の(前年の夏)日照時間が短く、2005年以降、最も少ない飛散となる予想です。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月上旬くらいになりそうです。</p>	
九州南部	<p>並～やや多い 2005年からの5年間で最も多い</p>	<p>並～やや遅め</p>

九州南部の今年の夏の日照時間は、2004年からの5年間で2番目に短く、最高気温は最も低くなりました。また、降水量は2004年からの5年間で2番目に多くなりました。雄花の成長にとってコンディションは良くはありません。同じようにコンディションの良くなかった2006年の夏は、日照時間が最も短かったものの、翌年の2007年のシーズンが表年ということもあり、やや飛散数は多くなりました。最も近い表年である2007年と比較すると、今シーズン(2009年)の方が、夏の(前年の夏)日照時間は長く、総合的に判断すると昨シーズン(2008年)と同等かやや多く飛散し、2005年以降最も多く飛散する可能性があります。ただ、今年はゲリラ雷雨に代表されるように、不安定な天気が多く、花粉の雄花の成長にもムラが生じているようです。局地的には予想を更に上回る飛散になる可能性もあり、油断は出来ません。飛散開始は昨年並みかやや遅く、2月上旬くらいになりそうです。

株式会社ウェザーニューズ（東証1部<4825>）について

世界主要国/地域に32の営業拠点を持つ、世界最大の民間気象情報会社。海、空、陸のあらゆる気象現象の世界最大規模のデータベースを有し、独自の予報により、航空、海運、流通、自治体などの各業務の問題解決情報を提供している。一般個人・大衆に対しては、携帯電話、インターネット、BSデジタル放送等のメディアを通じて、個人の生活を支援する各種情報を提供。ホームページ：<http://weathernews.com/jp/c>